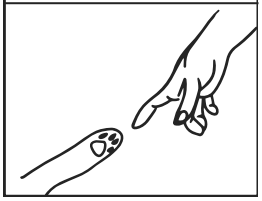
ふれあい動物



生活科 ～どうぶつだって ともだちだよ～

十二月十二日（火）

湘南動物プロダクション、千葉県獣医師会を講師に迎え、一年生を対象に動物との触れ合いを通して、命を尊重する心を育む時間を過ごしました。

今回、命の大切さを教えに来てくれたのは、希少種であるホワイトライオンの赤ちゃん、ポメラニアン、グレートピレニーズです。

動物たちが教えてくれたこと

心臓があるということは生きているということ。

小さい動物や大きな動物もみんな生きていて、身体の大きさに命の大きさは決して比例せず、同じだということ。

動物の命も自分の命も、そして家族や友達の命も、みんな同じ大切な命だということ。

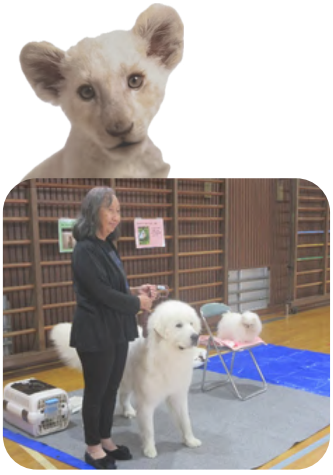
待ちに待った！ふれあいの時間

ワクワクが止まらない！

一年生は、先生や獣医師との約束をしっかり守りながらも、動物のことが気になる様子を隠しきれずにいる姿がとても印象的でした。

いよいよ動物に触れる順番がくると、きちんと教えてもらった通りの触り方で優しく接していました。

最初はみんな恐る恐る手を出すも、触った瞬間のふわふわな感触にとびきりの笑顔を見せてくれました。



最後に

折り紙で作られた可愛いメダルをプレゼントされて、とても喜んでいた一年生。

寿命という、命を終える速度はみんな違うから『またね』はないかもしれないけれど、だからこそそんな動物たちと触れ合った時間はかけがえのないものとして、握り締めたメダルと共にいつまでも心に残り続けてほしいと思います。